

歴史残る成瀬から
みんなでつくる新しいまち
南町田まで

町田市南地区 観光エリアマップ



このマップは、JR・小田急町田駅から南側のエリアをご紹介します。町田市を代表する桜の名所・恩田川が流れ、屋敷沿いの自然や歴史ある寺社が多い「成瀬・高ヶ坂地区」、町田街道や境川に挟まれ、古道の跡も見られる「金高地区」、東急田園都市線の開業と共に宅地造成され、整った街並みが広がる「小川・つくし野地区」、すずかけ駅周辺を走る「南町田・鶴間地区」と、歩き進むごとに違った魅力が見えてきます。

町田市観光コンベンション協会

各駅からのアクセス

■成瀬エリアへは

- 町田 JR成瀬線 徒歩3分(徒歩)
- 新谷 JR成瀬線 徒歩3分(徒歩)
- 横浜 JR成瀬線 徒歩3分(徒歩)
- 八王子 JR成瀬線 徒歩3分(徒歩)

■南町田エリアへは

- 町田 JR南武線 徒歩4分(徒歩)
- 新谷 JR南武線 徒歩4分(徒歩)
- 横浜 JR南武線 徒歩4分(徒歩)
- 八王子 JR南武線 徒歩4分(徒歩)

※所要時間は交通事情等により異なります。

発行者 2019年11月
一般社団法人町田市観光コンベンション協会
東京都知事登録旅行業 第3-6207号
〒194-0013 東京都町田市原町田4-10-20 ぽっほ町田
http://www.machida-guide.or.jp
info@machida-guide.or.jp
電話 (042) 724-1951 ファックス (042) 724-1952
協力 まちだ観光案内

恩田川の瀬音、歴史・自然・文化の豊かな成瀬エリア

「なるせ」の地名は「恩田川」の瀬音が鳴り響くところ

「平安後期から鎌倉時代にかけて武蔵七党横山氏の鳴瀬四郎太郎の居城があった」等によって由来すると言われていました。江戸時代は、成瀬千石川と言われ、特に文化・歴史等が栄えた豊かな村でした。現在は、地区中心を恩田川、成瀬街道が走り、特に恩田川の両岸の桜は見事で、シーズンには賑います。また横浜市との境、東雲寺・杉山神社を上がった成瀬尾根からは東京スカイツリー、丹沢山塊、富士山等が見え散策等に人気があり、町田市の景観賞を受賞しています。

東雲寺 (曹洞宗 龍谷山成就院) [F-4]

16世紀はじめ、横浜市港北区小机の雲松院三世により成瀬城址に近い寺屋敷(現共同墓地)付近に開創。北条氏が滅亡した後の17世紀はじめに現在地に雲松院六世によって再興されました。成瀬、小川、恩田を知り地とした旗本・井戸石守弘は、幕末藩費奉行としてペリー提督から大大統領の親書を受け取る重要な役目を果たしました。その井戸石守弘夫妻の墓があります。また、7世紀後半(白鳳時代)に作成された銅鑄像10cm余りの誕生釈迦立像があります。左手をあげている日本に4例しかない貴重なもので、市の有形文化財に指定されています。安政5年(1854)東雲寺十七世は寺子屋を開設、明治6年(1873)に成瀬、高ヶ坂の子どもたちが通う「成高学舎」が開校されました。現在の南第二小学校です。



成瀬 4-14-1 ☎ 042-726-5909 JR 成瀬駅北口から徒歩 17分

成瀬杉山神社 [F-4]

創建不詳。代官福井清兵衛と地頭井戸石衛助との寄進による寛文8年(1668)の棟札が見つかっています。祭神は日本武尊。昭和49年の区画整理でこの場所に移り、明治6年(1873)成瀬・高ヶ坂の最初の学校「成高学舎」の記念碑があります。観音山、恩田川流域には杉山神社が多く、市内5ヶ所のうち南地区に4ヶ所(成瀬、金森、西田、つくし野)あります。

成瀬 4-13-16 ☎ 042-724-4393 JR 成瀬駅北口から徒歩 15分

新しく生まれた公園の多いまち 小川・つくし野エリア

つくし野は昭和42年(1967)まで小川村の山林で谷戸の多い地域でした。宅地造成され、その地名は東急田園都市線のつくし野駅名と同様で、全国96,865通の公募の中から選考委員の漫画家・手塚治虫氏や作家・井上靖氏、画家・岡本太郎氏などの計6名によって命名されました。地域内にはつくし野セントラルパーク、殿山ふるさと森、こうま公園等多くの公園があり、中央さくら通りと四季を通じて楽しむことができます。

つくし野杉山神社 [F-7]

元は小川村杉山神社だったのですが、昭和49年(1974)土地区画整理のためにここに遷座されました。創建不詳ですが、社名の棟札には文化4年(1807)11月に杉山大明神、三島大明神、山王大明神の3社を現在地に奉斎したとあります。祭神は日本武尊。現在の社殿は昭和49年(1974)建立で鉄筋コンクリート造りです。本殿からの眺望は必見。町田が舞台とされる小説を映画化した『まはる駅前狂騒曲』のロケ地にも使用されました。

福寿院 (高野山真言宗 河上山) [F-7]

高野山真言宗の寺院。山下右衛門が開基となり、朝賢を開山として寛文11年(1671)に創建したといわれます。本尊は不動。この寺には別に観音堂が付属してあり、もとは隣地にあった別寺だったかもしれません。それは本堂正面に36段の石段があり、また観音堂にも44段の石階があり、かつ福寿院及び観音堂両境内敷地の高低が異なっていることから想像されます。鎌倉古道に面し、石階を昇った本堂からは眺望がきき、日が昇り、沈む様子が現れます。

南つくし野こうま公園 [G-8]

国道246号と東急田園都市線に挟まれた傾斜地のある緑豊かな公園の像があります。歴史的に馬の背のような谷戸であったため、昔から「馬の瀬谷戸」と呼ばれていました。芝生より展望よし、さらにトレンビューまでできる贅沢な公園です。

南つくし野 2-30-1 ☎ 東急田園都市線すずかけ台駅から徒歩 5分

成瀬尾根 [F-G-2~4]

町田市の成瀬地区と横浜市青葉区の県境にある里山で、1980年代の宅地開発から守られた貴重な自然です。「成瀬尾根1号緑地」、「成瀬尾根2号緑地」、「奈良谷戸公園緑地」そして、「成瀬山吹特別緑地保全地区」に続く1.5km、7.4ヘクタールの市営緑地が「成瀬尾根」です。山吹緑地からの眺めは町田市と左手の富士山や南アルプスの北岳そして右手の奥多摩、奥武蔵、秩父山系まで広がる大パノラマで、町田市の屈指のビューポイントです。2014年町田市景観賞を受賞しました。

堂之坂公園 [F-5]

江戸時代に旗本・井戸石守弘の敷地があったところで、この敷地は明治になって江戸屋敷が削減後に井戸氏の妻と子息が余生を過ごした住まいとされています。約200種の樹木(大王松、多行松、セダングン等)が植生し、市民の憩いの場所となっています。水琴窟があり、その音に心が安らぎます。

城山公園 (成瀬城址) [F-4]

2回にわたる発掘調査で、宋銭、銃弾などが出土し、中世末期の城郭であることが判明しました。武蔵横山党の鳴瀬四郎太郎の居館であったものを、大永4年(1524)、北条氏綱が江戸城を攻略した頃、小机城の城址として修築。天正18年(1590)の豊臣秀吉の山田原征伐で小田原城の開城とともに廃城となったと思われ、眺めのよいその址を城山公園として残しています。

梅稲荷 [G-6]

梅稲荷とは穀物の神の総称。梅稲荷の総本社、全国の稲荷神社の総本社は伏見稲荷大社です。稲荷神は大別し2系統あり、伏見大系統と狐神として祀られる原氏の社から生まれた稲荷神があります。稲荷神と狐神は2月の最初の午(うま)の日に、初午祭を行います。前日は宵宮祭を行い幟を立て締め縄を新しくし、掃除し、太鼓を叩き、餅やお油揚げ、目利しなどを供え五穀豊穡、除災開運等を願ってお祈りします。

金森杉山神社 [C-5]

創建不詳。天和3年(1683)12月に旗本・高木伊勢守の一族が下屋敷内に再建したことが社名の棟札に記されています。境内末社に八坂神社があります。現在の社殿は昭和11年(1936)10月に新造されています。祭神は日本武尊。西田杉山神社と同日の祭典とあり、昔から隔年毎ご神体を遷座して祭礼を行っています。境内には3基の記念碑や近隣に置かれていた8基の石塔などがずらりと並べられ、それぞれ解説板がわかりやすく書かれています。

西田杉山神社 [D-7]

創建不詳。隣の神奈川県大和市公所(くぞ)には南北朝時代、高木伊勢守の居城があり、城の守護神である日本武尊を奉斎する杉山神社を城より東北の方位(鬼門)に鎮座して城の鬼門除けの守護神とし、イチョウの木を植えてはるか城中より拝礼して無事長久を祈ったそうです。尚、このイチョウは町田市銘木百選で、3回回って祈願すれば願いを叶えてくれるとの伝説が残されています。

天満宮 (金森天神) [D-6]

町田市が緑の保全を目的として設置する金森天神ふるさとの森の中に菅原道真公を祀る神社があります。19世紀前半編さん「新編武蔵風土記稿」の金森村の項目に記載がありますが、創建年代他詳細は不明、昭和62年(1987)3月に地元元教者の協力のもと修復造営が行われました。境内には有名な「こち吹かばひおこせよ梅の花あるじなしとて春なわすれそ」の歌碑が建てられています。

なんまちひまわり畑 [D-7]

地元の横田農園が所有するひまわり畑です。シーズン中は約2,500本のひまわりが花を咲かせ、その様子はテレビ JA アグリハウスみらいと横田農園(定方寺公園入口バス停前)で販売します。※決まった場所以外での撮影や無断での花の採取、住居などでの近隣迷惑となる行為はご遠慮ください。ルールを守ってご覧ください。

金森 3-4 ☎ 町田バスセンター9番のりばから南町田グランベリーパーク駅行きで都営金森A2前バス停下車徒歩 3分

金森 6付近 ☎ 東急田園都市線南町田グランベリーパーク駅からバス町田バスセンター行きで西田山公園前バス停下車徒歩 5分

町田市立総合体育館 [F-5]

平成2年(1990)町田市の市制30周年記念事業の一つとして開館しました。メインアリーナは面積2,400㎡、収容人数約2,800人。バドミントンやバレーボールなど全国大会及び世界規模の大会を開催しています。フットサルチーム ASV スタードレーのホームアリーナで、町田市の成人式(二十祭まちだ)の会場としても使用しています。

なすな原遺跡 [G-6]

町田市の代表的な縄文時代の遺跡です。昭和50~55年(1975~80)に発掘調査が行われ、町田市最古の隆起縄文土器(約14,000年前)や縄文時代で最も新しい晩期(約2800年前)の「透かした彫り土製耳飾り(12点一括)」が注目され、これら2件は町田市指定有形文化財になっています。その他縄文時代の住居跡84軒、柱列址6棟、土坑413基(溝17穴、貯蔵穴、墓場等)が確認され、埋設土器遺構等も確認されました。町田市内南成瀬と横浜市緑区にまたがる約51,800㎡で、現在は東急長津田車両基地になっています。

与兵衛坂 [G-5]

『町田の民話と伝承(第二集)』によると、この坂のいわれは「昔、東光寺(南成瀬8丁目)に「与平」というどんな難病も必ず全快すると評判の与兵衛という名医がいた。この医者に診てもらうには馬坂(与兵衛坂の馬坂のこと)を通らねばならなかった。そのうちに一刻も早く診てもらいたい気持ちから近くの崖をよじ登って診察を受けに来るものが出るようになった。親切に患者思いの与平は、崖を切り通して近道を作り患者の便を計った。人々はこの坂を感謝と敬意を込めて「与兵衛坂」というようになった」とされています。現在は舗装整備されています。

南成瀬 8-11 と 8-10 間の坂 [R] JR 成瀬駅北口から徒歩 20分

田園地帯からきれいな街並みの“みんなのまち”へ 南町田・鶴間エリア

鶴間一里塚 [F-9]

地元住人が塚塚、学校道と呼ぶ鎌倉古道に面する、広さ180㎡、高さ6mのお椀を伏せたような形の塚です。この塚は鎌倉時代に物見台として瀬原谷を見張った、または室町時代の禊所の乱で瀬原谷が戦場となり、その戦死者を葬った、戦場で使った刀剣や農具を埋めたとの説があります。頂上には明治時代初期に村人たちが火難避難除けを祈る御歌講を作り、その御社の鎮座場所として造った奥多摩の御稲神社の石祠があり、カラヤエノキ、カシが茂っています。

圓成寺 (浄土真宗本願寺派 山王山) [E-10]

『新編武蔵風土記稿』によると北条氏綱の家臣山中修理長貞信が遣世し、恵心僧都作とされる阿弥陀如来立像を安置し、天正年間(1573)に開基。本堂に鎮座する聖徳太子立像は室町時代の寄木造りのもので、ふぶりな中に愛らしい表情とバランスのよい彫法は近隣の同時代の作品の中でも優品で、町田市有形文化財に指定されています。また、蓮のふすま絵も見事です。境内には大きな桜の木があります。

日枝神社 [F-10]

本殿は熊野神社内殿を移したもので、建築年代は享保11年(1726)一間社流造、檜をふんだんに使い、細部まで丁寧に作られており、身舎内の墨書から鎌倉時代の名大工・蔵住七郎兵衛によるもので、市で鎌倉大工の関与が判明している唯一の例です。また、こけり葺きの屋根からは当時鶴間村に職人がいたことがわかります。

大ヶ谷戸の庚申塔 [F-10]

旧大山街道と鎌倉古道が斜めに交差する大ヶ谷戸バス停後ろに祀られ、文久3年(1863)建立とあります。正面に立つるまじと刻まれ、上部にはしめ縄、左右に石灯籠が置かれています。江戸時代初期に矢倉往還が整備された頃に東海道と東海道、大仏詣での参拝客で賑わい、開業した大ヶ谷戸宿の宿として使用されていたようです。後には天明の大飢饉や江戸から運ばれたきた人を埋葬したと言われる供養塔もあります。

鶴間 6 ☎ 東急田園都市線南町田グランベリーパーク駅から徒歩 9分

かしの木山自然公園 [E-3]

成瀬、高ヶ坂、南大谷にまたがる面積約5.5haの緑豊かな自然公園です。シラカシ、クスノキ、コナラなどが生い茂り、野鳥・昆虫も多く、尾根道からは丹沢の山並みや町田の街並みが見えます。また、自然観察会を第3日曜日(但し、不定期)に開催しています。

観性寺 (曹洞宗 三枝山) [E-3]

万治元年(1658)東雲寺三世が開山。本尊は観音菩薩坐像、行基作と云われています。また『百年の観音』とも云われ、武相印堂僧堂48ヶ所の4番目です。境内には日枝神社、并財天が祀られています。

昭と薬科大学薬用植物園 [E-2]

平成2年(1990)4月開設。総面積11.2ha。草木、木本、水生、湿生の4つの植物区からなり、878㎡(約266坪)の大きな温室もあり、全国薬料系大学では屈指の規模を誇る薬用植物園です。毎週土曜日一般公開しています(団体は要事前申込)。薬草教室も開催されています。

松村邸紅しだれ桜 [E-4]

樹齢40年、高さ12m、南北20m、東西19mの大きく育った枝垂れ桜が開花時期に一般公開しています。※夜間はライトアップもしていますが、個人宅です。マナーを守って観賞しましょう。

鶴間熊野神社 [E-8]

村の総鎮守。創建年代不詳ですが、本殿内陣に熊野須美神の御神像を奉安していることから、数百年前、和歌山県の熊野本宮大社・那智大社・速玉大社の熊野三山を勧請したものと言われています。本殿建立は享保11年(1726)との記録があります。以降大飢饉や天災により、再建が繰り返されており、現在の権現造りの社殿は昭和46年(1971)の再建とされています。御祭神は伊弉諾命(いざなぎのみこと)伊弉册命(いざなみのみこと)、御神木は熊野大蛇の御守、葉が切れないくいと、御神木は熊野大蛇の御守。

境川水管橋 [E-9]

境川には、アーチ型水管橋が4本(横浜市水道局のもの3本と神奈川県内川内成内川成内川のもの1本)架けられています。これらは、鶴間公園の中を通って横浜市に向かっています。

南町田グランベリーパーク [E-9]

町田市と東急は南町田拠点創出まちづくりプロジェクトを共同で行い、グランベリーパークと鶴間公園、その2つをつなぐ形で位置するパークライプ・サイの第一帯を「南町田グランベリーパーク」とし、2019年11月「まちびらき」しました。

セミナーブル南町田 [F-9]

駅徒歩5分、プールや浴槽も備えた上質な研修施設で、社内研修や各種セミナーに利用できます。レストランでは平日ランチは一般営業、宿泊予約も利用可です。

鶴間 3-3-1, 3-4-1 ☎ 東急田園都市線南町田グランベリーパーク駅直結

高ヶ坂熊野神社 [D-4]

全国にある熊野三山の信仰の一つで、創建は不詳ですが高ヶ坂村内の日枝神社と共に高ヶ坂村の鎮守社です。祭神は伊弉那命、伊弉那命、開東大震災で社殿倒壊し、現社殿は昭和51年に再建されています。

祥雲寺 (龍潭山) [D-5]

曹洞宗の寺院で、大永6年(1526)に聖賢秀勝和尚が開山。江戸期には幕府から寺領15石の御朱印状を拝領していた他、最乗寺の輪番を勤めていたといわれます。武相印堂僧堂の37番聖堂、武相真成師匠19番聖堂として、それぞれ12年に一度開帳しています。本堂ツアーを行う「寺フェス」やフリーマーケットなど境内を開放したイベントも積極的に行っています。

高ヶ坂石器時代遺跡 [D-5]

大正14年(1925)に発見、翌年国史跡に指定された牟場・稲荷山・八幡平遺跡の3地点からなる縄文時代の集落跡です。牟場遺跡では縄文後期の敷石住居跡が発見され、覆屋のガラス越しに見学できます。稲荷山遺跡は縄文後期~晩期の石遺構で、その様子が埋め戻した場所の上にて再現されています。八幡平遺跡は縄文中期末の敷石住居跡で、遺跡公園として整備し、2020年公開予定です。

芹ヶ谷公園 (国際版画美術館) [C-4]

町田駅から約15分。ジャブジャブ池やせせらぎ、広々とした多目的広場、遊具のある冒険広場など、緑と水そして彫刻が楽しめる森の公園です。また、公園の一角には世界的にも珍しい版画に特化した国際版画美術館があります。

恩田川遊歩道 [E・F・4・5]

町田市本町田・南大谷・高ヶ坂・成瀬を流れる鶴見川の支流、遊歩道はジョギングやウォーキング等に使用され、市民の憩いの道です。高ヶ坂の高瀬橋から横浜市の境、鶴間川谷にかけて川沿いに400本のソメイヨシノが続き、春は町田さくらまつりのメイン会場の一つとなります。市の鳥・カワセミの姿も見られます。

ホームデリカTAICHI [E-5]

餃子の具を詰めた「成瀬ギョーザ」が看板商品。たじびメディアにも登場しています。店主の飾らぬ人柄も人気の秘密です。

手造りハム・ソーセージ 独逸屋 [F-3]

原料の豚肉は町田産を中心に使用。町田で作ったハムやソーセージは全国に好評です。直火が誇る名産品です。

カラメリーゼ [F-6]

町田産の卵や牛乳、はちみつなどを使用したケーキや焼き菓子(はちみつ)など味わい、アレルギー対応のケーキもつくっています。

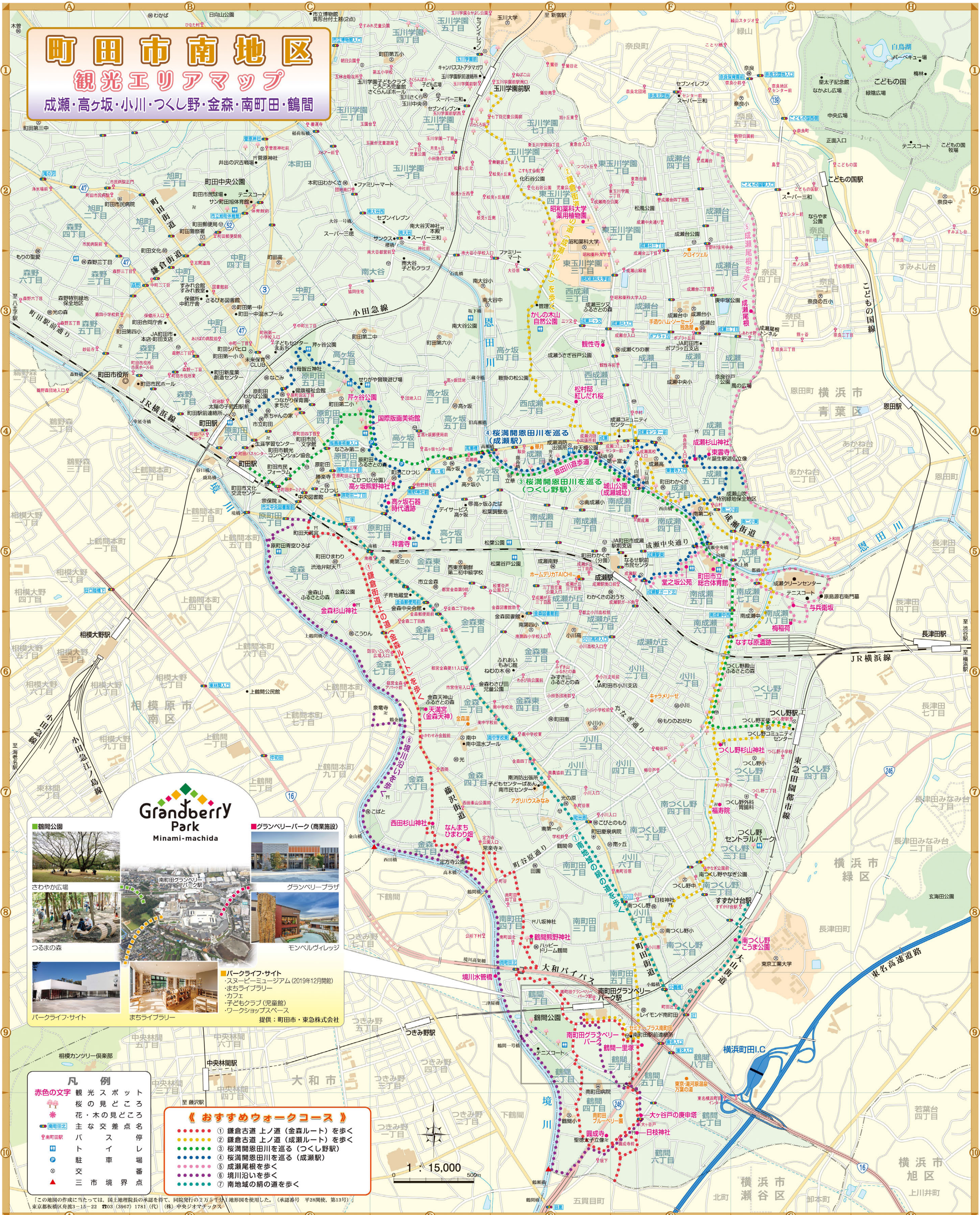
東京・湯河原温泉 万葉の湯 [F-9]

湯河原温泉の名湯を毎日運搬。館内に岩盤浴ルームや富士山を望む露天風呂、浴槽も、いつでも手湯が温泉旅行気分が楽しめます。町田駅から無料シャトルバスも運行。

金森 3-22-2 ☎ 042-796-5926 ☎ 16:00 ~ 23:00 ☎ 日、日、日、日

町田市南地区 観光エリアマップ

成瀬・高ヶ坂・小川・つくし野・金森・南町田・鶴間



■公園

さわかや広場

つるまの森

パークライフ・サイト

■グランベリーパーク (商業施設)

グランベリープラザ

モンベルヴィレッジ

■パークライフ・サイト

スヌーピーミュージアム (2019年12月開館)

まちライブラリー

カフェ

子どもクラブ (児童館)

ワークショップスペース

提供: 町田市・東急株式会社

- 凡例**
- 赤色の文字 観光スポット
 - 桜のマーク 桜の見どころ
 - 木のマーク 花・木の見どころ
 - 青い丸のマーク 主要な交差点名
 - 赤い丸のマーク バス停
 - 青い丸のマーク トイレ
 - 青い丸のマーク 駐輪場
 - 青い丸のマーク 交番
 - 赤い三角のマーク 三市境界点

- 《おすすめウォークコース》**
- ① 鎌倉古道上ノ道 (金森ルート) を歩く
 - ② 鎌倉古道上ノ道 (成瀬ルート) を歩く
 - ③ 桜清開恩田川を巡る (つくし野駅)
 - ④ 桜清開恩田川を巡る (成瀬駅)
 - ⑤ 成瀬尾根を歩く
 - ⑥ 境川沿いを歩く
 - ⑦ 南地域の絹の道を歩く



- おすすめウォークコース** ●km ●時間 だいたいコース全長と所要時間
- 1 鎌倉古道上ノ道 (金森ルート) を歩く (町田天満宮→南町田グランベリーパーク駅) 8km・4時間**

町田天満宮→洗池并財天→金森杉山神社→金森神社→西杉山神社→定方寺公園→常楽寺→八坂神社→熊野神社→鶴間公園→グランベリーパーク(昼食)→圓成寺→日枝神社→横浜水道道碑→鶴間一里塚→南町田グランベリーパーク駅
 - 2 鎌倉古道上ノ道 (成瀬ルート) を歩く (玉川学園前駅→南町田グランベリーパーク駅) 8km・4時間**

玉川学園前駅→化石谷公園→昭和薬科大学浴→かしの木山自然公園→鞍掛の松公園→成瀬ルート(三蔵寺古道)合流→成瀬コミュニティセンター(昼食)→杉山神社跡碑→西山橋→都橋→成瀬クリーンセンター→なすな原遺跡→殿山ふるさとの森→つくし野杉山神社→つくし野駅 (さらに足をのびして)→福寿院→やなぎ公園→日枝神社→鶴間一里塚→南町田グランベリーパーク駅
 - 3 桜清開恩田川を巡る (つくし野駅→斧ヶ谷公園→町田駅) 8km・4時間**

つくし野駅→恩田川沿い→吹上橋→総合体育館→会下山橋下→城山公園→弁天橋公園→高瀬橋→国際版画美術館→斧ヶ谷公園→町田市民文学館ことばらんど→JR 町田駅
 - 4 桜清開恩田川を巡る (成瀬駅→斧ヶ谷公園→町田駅) 7km・3時間**

成瀬駅→堂之坂公園→総合体育館→山吹緑地→東雲寺→成瀬杉山神社→城山公園→弁天橋公園(昼食)→高瀬橋→地藏堂→祥雲寺→高ヶ坂石器時代遺跡→高ヶ坂熊野神社→原町田ふるさとの森→国際版画美術館→斧ヶ谷公園→母智丘神社→小田急町田駅
 - 5 成瀬尾根を歩く (成瀬駅→成瀬台バス停→成瀬尾根→成瀬駅) 5km・3時間**

成瀬駅→成瀬台バス停→成瀬尾根→こどもの国方面→成瀬尾根トンネル上→奈良谷公園→風の広場→山吹緑地→吹上→成瀬街道→総合体育館→成瀬駅(都橋→原島源右衛門墓・屋敷敷→与兵衛坂→梅福荷→成瀬クリーンセンター→堂之坂公園→成瀬駅)
 - 6 境川沿いを歩く (町田天満宮→境川→三市境界2ヶ所→南町田グランベリーパーク駅) 8km・4時間**

町田天満宮→境川→上鶴間橋→相模原市飛地→鶴金橋→泉電寺→相模原一番地碑→金山橋→三市境界点(町田市・相模原市・大和市)→定方寺公園→鶴間橋(町谷原通り)→大和バイパス→境川水管橋(横浜水道道)→鶴間公園→三市境界点(町田市・大和市・横浜市)→大山街道→圓成寺→横浜水道道碑→南町田グランベリーパーク→南町田グランベリーパーク駅
 - 7 南地域の絹の道を歩く (町田駅→町田街道→神奈川道→長津田→すずかけ台駅) 8km・4時間**

町田天満宮→町田街道三塚→南橋→子育地蔵堂→金森中央会館→旧道→町谷原交差点→小鶴橋(東急田園都市線)→長津田(国道246号交差点)→大山街道(国道246号)→こらま公園→(東京工業大)→すずかけ台駅

【この地図の作成に当たっては、国土地理院院長の承認を得て、同院発行の2万5千分の地形図を使用した。(承認番号 平28開発第13号)】
東京教養館(角3-18-22 ☎03(3967)1781 (F)) (株) 中央ジオマックス